

令和 8 年度 教育部 予算説明資料

1 教育部の基本的な考え方

- ◎ 教育総務課においては、教育委員会会議や総合教育会議の円滑な運営を図り、教育に関する情報を発信することで、教育行政に対する市民理解の向上を図ります。
また、児童・生徒の学習環境の整備や安全確保を図るため、学校施設再整備計画に基づき、学校施設の改修及び維持管理（補修等）を行います。さらに今泉小学校の児童数の大幅増に対応するため、今泉小学校の校舎増築工事を行います。
そのほかにも、海老名の歴史と文化を後世に伝えるため、文化財の調査、保存等を行うとともに、文化財の公開や利活用を図り、普及啓発を推進します。

- ◎ 就学支援課においては、県費負担教職員の人事に関する事、児童生徒の就学に関する事、児童生徒の安全や健康に関する事、学校給食に関する事を行います。
令和 8 年度から中学第 1 学年まで 35 人学級が実施されることに伴い、市費教職員を様々な学校課題改善に重点をおいて配置します。
市内小中学校に在籍する児童生徒に魅力ある給食を提供することで、食の保障を行っています。また、「海老名の子どもたち、ひとりひとりの『おいしい笑顔』のために」を基本理念として、安心して安全な学校給食の提供に努めます。

- ◎ 教育支援課においては、海老名市の教育理念「ひびきあう教育」を推進するため、「えびなっこしあわせプラン」を継続し、実践的教育活動に取り組んでいきます。また、児童生徒の英語力を強化するとともに、ICT 環境を充実し 1 人 1 台端末を活用した授業の実践を行います。
児童生徒の保護者への負担軽減を図るため、引き続き野外教育活動や修学旅行への参加費用を援助します。
教育支援センターにおいては、心理及び福祉等の専門家による相談対応や、学校等関係機関との連携等による課題解決に向けた支援を行うとともに、不登校状態にある児童生徒に対し専任教員等による集団への適応指導等を行い、学校復帰や将来的な自立を支援します。さらに補助指導員や介助員等を学校に派遣し、ひとりひとりのニーズに寄り添った教育活動を支援することにより、フルインクルーシブ教育を推進していきます。

- ◎ 学び支援課においては、夏休み中に子どもが体を動かして遊べる場所として、試行的に学校体育館の開放を行います。
学童保育支援事業については、事業者への運営補助や施設の耐震対策補助、学童利用者のうちスクールライフサポート認定世帯を対象とした保育料補助等により支援を継続していきます。
図書館については、大規模改修から 10 年が経過した中央図書館について、外壁タイル全面検査と、漏水発生箇所の補修工事を行います。
また、市民講座「まな B I N A」を開催するほか、20 歳を対象とした「二十歳の祝典」については、実行委員の主体的な企画、運営による開催を継続します。

2 教育部の主要な施策

【新規事業】

- ・ インクルーシブ教育推進事業費
- ・ 小学校施設整備事業費
- ・ 中学校施設整備事業費
- ・ 子ども・学校支援事業費
- ・ 文化財活用事業費

※詳細については、予算書説明資料のうち予算事業概要調書を参照

【継続事業】

- ・ 学校給食調理経費

※詳細については、予算書説明資料のうち予算事業概要調書を参照

3 事務事業の見直し・創意工夫等

《 教育総務課 》

○ 校舎空調設備

- ・ 機器設置から15年以上経過したことに伴う機器の老朽化や、夏季の酷暑による熱中症対策などを考慮し、校舎空調設備改修工事実施時期の前倒しを検討します。

《 就学支援課 》

○ 教材費無償化

- ・ 保護者や学校関係者等の意見及び物価高騰を踏まえ、教材費支援の内容を見直し拡充します。

《 教育支援課 》

○ 充実した教育環境の確保

- ・ 教職員へのICT面でのサポートの強化として、情報教育支援員の派遣日数配分を調整し、また、全小学校に統一した学習支援ソフトを運用して、ICT教育のさらなる推進を図ります。

○ 修学旅行保護者負担軽減補助金

- ・ 保護者負担軽減策として、物価高騰に対応した修学旅行補助金額の引き上げを行います。

○ 相談員として作業療法士を配置

- ・ 相談が最も多い神経精神（発達）の分野に詳しい作業療法士を配置し、相談支援体制のさらなる充実を図ります。

《 学び支援課 》

○ 学童保育クラブ医療的ケア児受入補助

- ・ 医療的ケア児受入のため、看護師等雇用にかかる経費を補助することで、児童が安心して過ごせる環境整備を支援します。

4 S D G s への取組み

《 就学支援課 》

- 学校給食（フードロスの削減）
 - ・すべての小・中学生に対し、学校給食を通じてフードロス削減の意識・行動の醸成を図ります。

《 教育支援課 》

- 誰一人として取り残さない教育
 - ・すべての子どもたちを対象とした教育支援及び地域力を活かした子ども・学校支援に取り組みます。

5 D X（デジタルトランスフォーメーション）への取組み

《 教育総務課 》

- スマートキーボックス
 - ・小中学校体育館一般開放利用者への鍵貸出し等の利便性向上のため、スマートキーボックスを運用します。

《 就学支援課 》

- L I N E を活用した学校連絡システム
 - ・市のL I N E 公式アカウントを活用した学校連絡システムによる保護者からの欠席等の連絡や学校の様々な連絡事項及び不審者情報などを即時提供します。

《 教育支援課 》

- I C T 教育の推進
 - ・すべての小・中学生に1人1台のI T 端末を配備し、I C T 教育の推進を図っています。また、学校に電子黒板を順次導入します。
- 安全・安心な学校
 - ・行事活動等の集金における学校のキャッシュレス化を進め、保護者の利便性向上と児童生徒の安全・安心の確保を図ります。

第2表 継続費

(単位 千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
10 教育費	3 中学校費	今泉中学校増築校舎整備事業費	500,000	令和8年度	350,000
				令和9年度	150,000

第3表 債務負担行為

(単位 千円)

事	項	期間	限度額
情報教育支援業務		令和9年度	1,382
G I G Aスクール構想対応常駐情報教育支援業務		令和9年度	1,415
学習者用端末フィルタリング導入		令和8年度 ～ 令和9年度	5,676
小・中学校給食調理等業務委託		令和8年度 ～ 令和11年度	1,444,437
学校給食費納入通知書等印刷及び封入封緘業務委託		令和8年度 ～ 令和9年度	1,637

第4表 地方債

該当なし

6 主な歳入・歳出予算額の推移

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
13・1 使用料及び手数料(使用料)		24,767	25,891	△1,124	△4.3	
7 教育使用料		24,767	25,891	△1,124	△4.3	
1 教育総務使用料		38	56	△18	△32.1	
食の創造館使用料	就学支援課	36	54	△18	△33.3	【主な内容】 食の創造館の会議室及び調理室の使用料です。 【増減理由】 利用実績を踏まえた減額(△18千円)
行政財産使用料	就学支援課	2	2	0	0.0	【主な内容】 食の創造館の土地使用料(電柱)です。
2 小学校使用料		11,756	11,886	△130	△1.1	
行政財産使用料	教育総務課	9,595	9,309	286	3.1	【主な内容】 市立小学校の敷地内に設置されている電柱やHUG HUGえびな自販機等の土地使用料及び学校職員、 学童職員が通勤用車両を学校敷地内に駐車する際の 目的外使用料です。
学校開放施設使用料	教育総務課	2,161	2,577	△416	△16.1	【主な内容】 市立小学校の夜間照明付グラウンド及び体育館の一 般開放使用料です。 【増減理由】 利用実績に応じた利用日数の減少に伴う減額 (△416千円)

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
3 中学校使用料		6,416	7,091	△ 675	△ 9.5	
行政財産使用料	教育総務課	4,579	5,312	△ 733	△ 13.8	【主な内容】 市立中学校の敷地内に設置されている電柱等の土地使用料及び学校職員が通勤用車両を学校敷地内に駐車する際の目的外使用料です。 【増減理由】 令和6年度決算額を踏まえた減額(△733千円)
学校開放施設使用料	教育総務課	1,837	1,779	58	3.3	【主な内容】 市立中学校の夜間照明付グラウンド及び体育館の一般開放使用料です。
4 社会教育使用料		6,557	6,858	△ 301	△ 4.4	
行政財産使用料	教育総務課	64	64	0	0.0	【主な内容】 電柱・電話ボックス等土地使用料です。
行政財産使用料	学び支援課	6,493	6,794	△ 301	△ 4.4	【主な内容】 中央図書館敷地内電柱・ポスト設置使用料及び中央図書館カフェ・書店使用料です。

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
14・1 国庫支出金(国庫負担金)		381,148	0	381,148	皆増	
4 教育費国庫負担金		381,148	0	381,148	皆増	
1 小学校費負担金		381,148	0	381,148	皆増	
今泉小学校増改築事業費	教育総務課	381,148	0	381,148	皆増	【主な内容】 公立学校施設整備費に対する国庫負担金です。 (負担率1/2) 【増減理由】 今泉小学校校舎増築にかかる補助対象事業を実施するため増額(+381,148千円)
14・2 国庫支出金(国庫補助金)		276,666	238,246	38,420	16.1	
5 教育費国庫補助金		276,666	238,246	38,420	16.1	
1 教育総務費補助金		5,070	4,311	759	17.6	
教育支援体制整備事業費	教育支援課	5,070	3,156	1,914	60.6	【主な内容】 医療的ケアが必要な児童生徒に対して支援を行う、看護介助員に要する経費(報酬)への国庫補助金(補助率1/3・調整あり)です。 【増減理由】 配置人数の増加、時給単価上昇に伴う増額(+1,914千円)

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
公立学校情報機器活用支援体制整備費	教育支援課	0	1,155	△ 1,155	皆減	【主な内容】 情報機器を活用するための支援体制を整備するために必要とする経費への国庫補助金（補助率1/3・上限あり）です。 【増減理由】 補助対象事業の実施がないことによる減額（△1,155千円）
2 小学校費補助金		6,332	4,814	1,518	31.5	
要保護児童援助費	就学支援課	79	113	△ 34	△ 30.1	【主な内容】 要保護援助費（小学校修学旅行費）にかかる、国庫補助金（補助率1/2）です。 【増減理由】 対象人数の減少に伴う減額（△34千円）
特別支援教育就学奨励費	教育支援課	3,358	1,674	1,684	100.6	【主な内容】 特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、就学に必要な援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図るための国庫補助金（補助率1/2・調整あり）です。 【増減理由】 対象人数の増加、費目単価上昇に伴う増額（+1,684千円）
防音関連維持費	教育総務課	2,895	3,027	△ 132	△ 4.4	【主な内容】 防衛施設周辺防音事業により設置した空調機等運転費の国庫補助金（補助率2/3・5.5/10）です。
3 中学校費補助金		3,203	2,207	996	45.1	
要保護生徒援助費	就学支援課	293	152	141	92.8	【主な内容】 要保護援助費（中学校修学旅行費）にかかる国庫補助金（補助率1/2）です。 【増減理由】 対象人数の増加に伴う増額（+141千円）

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
特別支援教育就学奨励費	教育支援課	1,734	1,016	718	70.7	【主な内容】 特別支援学級に就学する生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図るための国庫補助金（補助率1/2・調整あり）です。 【増減理由】 対象人数の増加、費目単価上昇に伴う増額（+718千円）
防音関連維持費	教育総務課	1,176	1,039	137	13.2	【主な内容】 防衛施設周辺防音事業により設置した空調機等運転費の国庫補助金（補助率2/3・5.5/10）です。 【増減理由】 空調稼働時間の増加に伴う増額（+137千円）
4 社会教育費補助金		262,061	226,914	35,147	15.5	
子ども・子育て支援事業費	学び支援課	244,911	210,314	34,597	16.5	【主な内容】 学童保育支援事業費に対する国庫補助金（補助率1/3）です。 【増減理由】 学童の支援単位数増加等に伴う増額（+34,597千円）
生活困窮者学習支援事業費	学び支援課	14,150	13,600	550	4.0	【主な内容】 生活困窮者学習支援（ライフ・スタディサポート）事業に対する国庫補助金（補助率1/2）です。
遺跡発掘調査事業費	教育総務課	3,000	3,000	0	0.0	【主な内容】 開発等に関わる事前発掘調査等に対する国庫補助金（補助率1/2）です。

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
15・2 県支出金（県補助金）		894,914	408,060	486,854	119.3	
7 教育費県補助金		476,039	408,060	67,979	16.7	
1 教育総務費補助金		166,284	138,490	27,794	20.1	
公立学校情報機器整備事業費	教育支援課	150,113	138,490	11,623	8.4	【主な内容】 G I G Aスクール構想第2期の1人1台端末整備と更新を対象とした県費補助金（補助率2/3）です。
フリースクール等利用児童・生徒支援事業費	教育支援課	2,333	0	2,333	皆増	【主な内容】 市フリースクール利用児童生徒支援補助金事業に対する経費を対象とした県費補助金（補助率1/3）です。 【増減理由】 令和7年度は補正で対応し、令和8年度から当初予算に組み込んだため増額（+2,333千円）
市町村立学校働き方改革加速化補助金	就学支援課	5,822	0	5,822	皆増	【主な内容】 市町村が実施する教員の働き方改革を加速させるための事業に要する経費に対する県補助金です。 3,000千円まで10/10、その他新規事業は1/2、継続事業は1/3 【増減理由】 令和7年度は補正で対応し、令和8年度から当初予算に組み込んだため増額（+5,822千円）

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
公立学校における帰国・外国人児童生徒等教育推進事業費	教育支援課	8,016	0	8,016	皆増	【主な内容】 帰国・外国人児童生徒等への指導・支援に当たる日本語指導学級講師の経費（報酬）を対象とした県費補助金（補助率2/3・調整あり）です。 【増減理由】 令和8年度から当初予算に組み込んだため増額（+8,016千円）
2 中学校費補助金		20,197	15,945	4,252	26.7	
部活動指導員配置促進事業費	教育支援課	20,197	15,945	4,252	26.7	【主な内容】 国のガイドラインに沿った部活動指導員の配置に対する県費補助金（補助率2/3以内）です。 【増減理由】 部活動指導員配置人数の増加及び配分額増加見込みによる増額（+4,252千円）
3 社会教育費補助金		289,558	253,625	35,933	14.2	
子ども・子育て支援事業費	学び支援課	244,661	210,314	34,347	16.3	【主な内容】 学童保育支援事業費に対する県費補助金（補助率1/3）です。 【増減理由】 学童の支援単位数増加等に伴う増額（+34,347千円）
学校・家庭・地域連携協力推進事業費	学び支援課	7,446	5,946	1,500	25.2	【主な内容】 子ども・学校支援事業及び学習支援ボランティア事業に対する県費補助金（補助率2/3以内）です。 【増減理由】 人件費増加に伴う委託費の増額（+1,500千円）

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料支援事業費	学び支援課	11,048	10,824	224	2.1	【主な内容】 市がひとり親世帯の学童保育クラブの利用料に補助を出す場合の県費補助金（補助率1/2）です。
遺跡発掘調査事業費	教育総務課	1,000	1,000	0	0.0	【主な内容】 開発等に関わる事前発掘調査等に対する県費補助金（補助率1/6以内）です。
放課後子ども教室推進事業費	学び支援課	23,880	23,673	207	0.9	【主な内容】 放課後子ども教室（あそびっ子クラブ）推進事業に対する県費補助金（補助率2/3以内）です。
家庭教育支援総合推進事業費	学び支援課	1,523	1,448	75	5.2	【主な内容】 家庭教育学級事業に対する県費補助金（補助率2/3以内）です。
指定天然記念物保存修理事業費	教育総務課	0	420	△ 420	皆減	【主な内容】 県指定天然記念物の保存修理に対する県費補助金（補助率1/2）です。 【増減理由】 該当事業がないため減額（△420千円）
8 交付金		418,875	0	418,875	皆増	
6 教育総務費交付金		418,875	0	418,875	皆増	
給食費負担軽減交付金	就学支援課	418,875	0	418,875	皆増	【主な内容】 小学校給食費の抜本的な負担軽減に対する県費交付金（児童一人当たり5,200円/月）です。 【増減理由】 令和8年度からの制度開始となるため（+418,875千円）

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
17・1 寄附金(寄附金)		1,550	1,550	0	0.0	
3 教育費寄附金		1,550	1,550	0	0.0	
1 小学校費寄附金		1,200	1,200	0	0.0	
HUGHUGえびな事業指定寄附	教育支援課	1,200	1,200	0	0.0	【主な内容】 「HUGHUGえびな宣言」に基づく各種子育て支援事業に対する寄附金です。
2 中学校費寄附金		350	350	0	0.0	
中学校備品購入指定寄附	教育支援課	50	50	0	0.0	【主な内容】 海老名市立中学校図書室充実のための指定寄附です。
中学校行事活動充実支援指定寄附	教育支援課	300	300	0	0.0	【主な内容】 海老名市中学校吹奏楽部合同コンサート実施のための協賛金です。

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
20・5 諸収入(雑入)		288,375	620,392	△ 332,017	△ 53.5	
2 雑入		288,375	620,392	△ 332,017	△ 53.5	
2 雑入		288,375	620,392	△ 332,017	△ 53.5	
私用電気料・水道料	教育総務課	920	0	920	皆増	【主な内容】 HUGHUGえびな自販機の電気料などです。 【増減理由】 HUGHUGえびな自販機の電気料などを見込んだことに伴う増額(+920千円)
私用電気料・水道料	就学支援課	120	120	0	0.0	【主な内容】 食の創造館自動販売機の電気料です。
私用電気料・水道料	学び支援課	1,761	1,761	0	0.0	【主な内容】 中央図書館カフェ内の電気・水道使用料です。
私用電話料	教育総務課	10	0	10	皆増	【主な内容】 学校設置の公衆電話使用料です。 【増減理由】 設置期間の延長に伴う増額(+10千円)
私用電話料	学び支援課	2	2	0	0.0	【主な内容】 中央図書館の公衆電話使用料です。

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
給食材料費	就学支援課	274,543	605,628	△ 331,085	△ 54.7	【主な内容】 小中学校給食材料費です。 【増減理由】 小学校給食の食材費が給食費負担軽減交付金により支援されることに伴う減額 (△331,085千円)
学校災害・スポーツ・道路等保険金	就学支援課	6,600	6,600	0	0.0	【主な内容】 全国市長会学校災害賠償補償保険及び日本スポーツ振興センター災害共済給付金です。
私用複写機利用料	教育総務課	147	3	144	4,800.0	【主な内容】 学校複写機の利用料などです。 【増減理由】 学校応援団等の利用に伴う増額 (+144千円)
市民参加料等	教育総務課	31	21	10	47.6	【主な内容】 歴史体験教室参加費等です。 【増減理由】 参加料値上げに伴う増額 (+10千円)
刊行物売払代	教育総務課	1,857	157	1,700	1,082.8	【主な内容】 市史他刊行物文化財書籍等売払い代金です。 【増減理由】 市制施行55周年記念事業としての記念グッズ作成販売に伴う増額 (+1,700千円)
刊行物売払代	教育支援課	15	15	0	0.0	【主な内容】 有料刊行物の売り払い代金です。
図書館振興財団助成金	教育総務課	580	3,706	△ 3,126	△ 84.3	【主な内容】 提案型事業助成金です。 【増減理由】 令和7年度にシステム構築が完了し、令和8年度は構築料がなく、クラウド利用料等が助成対象となるため減額 (△3,126千円)

(1) 主な歳入予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
地域伝統芸能等保存事業	教育総務課	175	175	0	0.0	【主な内容】 地域伝統芸能等保存事業への助成金です。
その他雑入	教育総務課	607	702	△ 95	△ 13.5	【主な内容】 公衆電話取扱手数料（小中学校）及び特定教室開放・学校体育館空調機器使用料です。 【増減理由】 利用実績に応じた利用者数等の減少に伴う減額（△95千円）
その他雑入	就学支援課	283	278	5	1.8	【主な内容】 使用済食用油及びダンボール売払代です。
その他雑入	学び支援課	724	724	0	0.0	【主な内容】 校内学童保育の機械警備設置料です。
芸術文化振興基金助成金	教育総務課	0	500	△ 500	皆減	【主な内容】 芸術文化振興基金助成金です。 【増減理由】 隔年実施の事業で令和8年度は開催しないことによる減額（△500千円）
歳入合計		1,867,420	1,294,139	573,281	44.3	

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
10・1 教育費(教育総務費)		2,603,218	2,479,521	123,697	5.0	
1 教育委員会費		5,987	6,293	△ 306	△ 4.9	
教育委員会運営経費	教育総務課	5,987	6,293	△ 306	△ 4.9	【主な内容】 教育行政の推進と教育環境の改善のため教育委員会の円滑な運営を図り、併せて教育全般に対する市民の理解を深めます。 また、首長との協議、調整の場である「総合教育会議」を適宜開催し、首長との連携を図るとともに、議論を公開することで市民への説明責任を果たします。
2 事務局費		1,041,638	970,766	70,872	7.3	
教育委員会事務局経費	教育総務課	2,762	4,880	△ 2,118	△ 43.4	【主な内容】 県及び各市町村教育委員会との情報交換や事務研究を行い、併せて、教育委員会事務局内の執務を充実させ、教育行政の推進を図ります。 【増減理由】 教育委員会事務監査員の雇用をやめたことによる減額(△2,118千円)
教室等一般開放事業費	教育総務課	2,221	11,643	△ 9,422	△ 80.9	【主な内容】 地域コミュニティや生涯学習、社会体育の場として、市立小中学校の余裕教室、体育館及び夜間照明付グラウンドを一般開放します。 【減額理由】 体育館の鍵の受け渡しにスマートキーボックスを導入した初期投資費分の減額(△9,422千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
就学支援総務経費	就学支援課	11,242	17,377	△ 6,135	△ 35.3	【主な内容】 教職員人事調整、人事事務の研究、学級編制事務、学籍事務等の円滑な実施を図ります。 【増減理由】 学齢・就学援助システム及び勤怠管理システムの契約期間延長によるリース額見直しに伴う減額 (△6,135千円)
健康管理事業費	就学支援課	9,985	8,680	1,305	15.0	【主な内容】 学校保健安全法で定められている健康診断等を実施することにより、疾患の早期発見や学校管理下における安全な集団生活の確保を図ります。また、教職員の健康管理を行います。 教職員の心的病理の予防策として、臨床心理士による心の相談を実施します。また、ストレスチェックを実施したあと、高ストレスの希望者に対して医師面談と臨床心理士面談を実施します。 【増減理由】 心の相談の相談体制見直しに伴う増額 (+1,480千円) 教職員健康診断受診者の見直しに伴う減額 (△175千円)
学校災害見舞金支給事業費	就学支援課	6,600	6,600	0	0.0	【主な内容】 児童生徒の学校管理下における事故・負傷等に対し、海老名市学校災害見舞金の贈呈に関する基準により見舞金を贈呈します。また、独立行政法人日本スポーツ振興センターからの共済給付金を給付します。
奨学金支給事業費	就学支援課	5,610	5,610	0	0.0	【主な内容】 高い学習意欲を持ち、経済的な理由で修学が困難な者へ、奨学金を給付し、将来の夢や目標の実現を支援します。
教育支援総務経費	教育支援課	1,150	2,698	△ 1,548	△ 57.4	【主な内容】 教育支援課所管事業を円滑に運営するための経費です。 【増減理由】 相模原市に設置された夜間中学に在籍している市民の人数に応じた負担額を支払う制度の該当生徒が卒業見込みであることによる減額 (△1,548千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
インクルーシブ教育推進事業費	教育支援課	206,293	193,375	12,918	6.7	<p>【主な内容】 さまざまな要因により支援を要する児童生徒に対して専門家等の派遣等を行います。 (通常の学級の児童生徒の学習を補助する補助指導員、特別支援学級の児童生徒の介助を行う介助員・看護介助員、ことばに課題を持つ児童生徒に対する言語聴覚士の巡回指導、外国につながるのある児童生徒に対する日本語指導講師の巡回指導等、不登校の児童等が過ごすスペシャルサポートルームでの支援を行う支援員等)</p> <p>【増減理由】 時給の単価増による予算増と、スペシャルサポートルーム支援員の勤務時間を6.5時間に変更したこと、また、すべてのこどもたちが安心して小中学校で過ごすことができるように、小学校にはインカムや多角形の机の配備、中学校には目盛付デジタル時計やマット、パーテーションの設置など、環境整備による増額(+12,918千円)</p>
教職員資質充実事業費	教育支援課	13,173	12,967	206	1.6	<p>【主な内容】 教職員の資質向上を図るとともに、教育の円滑化、効率化を図り、児童・生徒の学力向上と生きる力を育みます。</p>
人権教育推進事業費	教育支援課	472	472	0	0.0	<p>【主な内容】 人権教育の推進と啓発活動の充実を図ります。</p>
教育調査研究事業費	教育支援課	1,106	866	240	27.7	<p>【主な内容】 県内各教育研究所、教育センターとの連携を深め事業の充実を図るとともに、教職員の主体的な研究活動を支援します。</p> <p>【増減理由】 視察派遣人数の増による増額(+240千円)</p>

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
教職員研修事業費	教育支援課	13,286	13,268	18	0.1	【主な内容】 教育の今日的な課題や教職員のニーズに対応した研修会(講座)を開催し、教員の専門性を高め指導力の向上を図ります。
少人数指導充実事業費	就学支援課	9,012	14,627	△ 5,615	△ 38.4	【主な内容】 中学校で35人学級を実施することにより、少人数指導やT・T指導を行う県費負担教職員が不足するため、市費により非常勤講師を配置することにより、きめ細かな教科指導体制を確保します。 【増減理由】 全小学校及び中学第1学年で県費教職員による35人学級が開始されたことによる減額(△5,615千円)
教育指導体制確保事業費	就学支援課	46,586	30,925	15,661	50.6	【主な内容】 学校の様々な課題への支援としての支援員及び教員を配置します。また、県費では任用されない短期療養休暇者、修学旅行引率の養護教諭等の代替等学校運営上必要な代替教員を市費で配置します。 学校へのサポート体制としてスクールロイヤー制度、学校代理人制度を継続します。 【増減理由】 課題改善のための教員及び支援員の増員(+12,798千円) 学校代理人の体制変更による増額(+2,863千円)
外国語教育推進事業費	教育支援課	84,125	73,125	11,000	15.0	【主な内容】 英語指導講師を市内各小・中学校に派遣することで、国際化時代における英語教育の充実と英語担当教員の資質向上、国際理解の振興を図ります。 【増減理由】 英語指導講師派遣業務の3年契約完了に伴う更新による増額(+11,000千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
特色ある学校づくり推進事業費	教育支援課	20,329	19,850	479	2.4	【主な内容】 海老名市の教育理念「ひびきあう教育」を推進するため、市内の小・中学校の研究会に委託します。
野外教育活動推進事業費	教育支援課	21,966	19,719	2,247	11.4	【主な内容】 市内小学校の野外教育活動の充実を支援します。 【増減理由】 物価高騰に対応した補助額の増加による増額 (+2,247千円)
新たな学校体制づくり事業費	教育支援課	2,210	2,086	124	5.9	【主な内容】 小中一貫教育や海老名型コミュニティ・スクールの推進をはじめとする新しい学校の体制づくりを支援します。
修学旅行支援事業費	教育支援課	35,394	29,215	6,179	21.2	【主な内容】 市立小中学校の修学旅行に参加する、市内在住の児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付します。 【増減理由】 物価高騰に対応した補助額の増加による増額 (+6,179千円)
学校キャッシュレス化促進事業費	教育支援課	2,859	2,839	20	0.7	【主な内容】 学校での現金集金を口座引き落としに変更することで、現金授受に伴う負担やリスクを回避するとともに、手数料相当額を補助することで、保護者の経済的な負担軽減を図ります。
I C T教育推進事業費	教育支援課	545,257	499,944	45,313	9.1	【主な内容】 教育活動をI C Tの観点で支援します。児童生徒の情報活用能力を育成するため、1人1台端末を活用するための教育環境を醸成し、情報機器を活用する機会の均衡を図るとともに、遠隔授業等の実施により学びの保障を図ります。 【増減理由】 G I G Aスクール構想第2期の進行に伴い、1人1台端末の更新を行うための増額 (+45,313千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
3 学校給食費		1,463,020	1,423,696	39,324	2.8	
学校給食管理経費	就学支援課	90	132	△ 42	△ 31.8	【主な内容】 海老名市食物アレルギー対応の手引の見直しを実施します。 【増減理由】 記念品購入等の見直しに伴う減額 (△42千円)
収納事務経費	就学支援課	16,281	0	16,281	皆増	【主な内容】 学校給食費公会計化に係る給食費の徴収事務の適切な運営を図ります。 【増減理由】 細々目の入替えに伴う増額 (+16,281千円)
東柏ヶ谷小学校給食施設維持管理経費	就学支援課	38,141	34,680	3,461	10.0	【主な内容】 単独調理場としての東柏ヶ谷小学校の給食提供に伴う調理用品・衛生管理用品等消耗品の購入と施設維持管理を行います。 【増減理由】 消毒保管庫の更新に伴う増額 (+3,461千円)
食の創造館維持管理経費	就学支援課	649,781	673,150	△ 23,369	△ 3.5	【主な内容】 安全・安心な学校給食を提供するとともに、児童生徒の成長に必要な栄養価の高い給食の安定供給を図ります。 市内小中学校給食に伴う衛生管理用品等消耗品の購入及び施設維持管理委託・各種保守点検により安全な学校給食を提供します。また、経年劣化による施設修理を行います。
学校給食調理経費	就学支援課	758,727	700,285	58,442	8.3	【主な内容】 小中学校給食の提供に必要な食材費を支出します。 地場産食材購入費及び児童が楽しみになる給食実施のための食材費の一部や物価高騰による食材費高騰分(中学校)について、公費で負担します。
収納事務経費	就学支援課	0	15,449	△ 15,449	皆減	【主な内容】 学校給食費公会計化に係る給食費の徴収事務の適切な運営を図ります。 【増減理由】 細々目の入替えに伴う減額 (△15,449千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
4 教育支援センター費		92,573	78,766	13,807	17.5	
教育支援センター運営経費	教育支援課	70,667	63,033	7,634	12.1	<p>【主な内容】 心理の専門家等による不登校、いじめ、非行問題や就学に関する相談や定期的な学校訪問による保護者・児童生徒・教員等の相談及びコンサルテーションを行います。また、家庭訪問相談員による児童生徒の課題解決に向けた関係機関等との連携業務、専門補導員による青少年の非行防止のための街頭補導等を行います。</p> <p>【増減理由】 時給の単価上昇による予算増と、相談員（心理・作業療法士）の増員による増額（+7,634千円）</p>
教育支援教室充実事業費	教育支援課	11,203	8,648	2,555	29.5	<p>【主な内容】 不登校児童生徒に対し、専任教員や指導員による集団への適応指導を行い、コミュニケーション能力の伸長・情緒の安定・基礎学力の充実・基本的な生活習慣の改善等を図り、学校への復帰や将来の社会的自立を目指します。</p> <p>【増減理由】 時給の単価上昇による予算増と、指導員の増員による増額（+2,555千円）</p>
別室登校支援事業費	教育支援課	10,703	7,085	3,618	51.1	<p>【主な内容】 市内全中学校に「心の教室相談員」を派遣し、生徒のメンタルサポートを行います。</p> <p>【増減理由】 時給の単価上昇による予算増と、勤務時間を6時間から6.5時間へ変更したこと等による増額（+3,618千円）</p>

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
10・2 教育費 (小学校費)		1,693,597	733,053	960,544	131.0	
1 学校管理費		1,526,127	536,228	989,899	184.6	
小学校維持管理経費	教育総務課	328,287	298,365	29,922	10.0	【主な内容】 児童の教育環境の向上を図るため、施設の維持管理（補修等）を行うとともに、小学校運営に必要な備品等の整備を行います。また、教育内容の多様化に対応するため、教材、教具等の充実を図り、学習効果を高めます。 【増減理由】 施設維持管理費用の増加に伴う増額（+29,922千円）
小学校施設整備事業費	教育総務課	1,043,245	96,619	946,626	979.8	【主な内容】 海老名小学校、柏ヶ谷小学校及び東柏ヶ谷小学校校舎空調改修工事設計、有馬小学校校舎外装改修工事設計、門沢橋小学校給排水改修設計、今泉小学校長寿命化改良工事設計、門沢橋小学校受変電設備改修工事、今泉小学校増築校舎整備などを実施します。 【増減理由】 施設整備事業の増加に伴う増額（+946,626千円）
小学校運営事業費	教育総務課	46,272	35,000	11,272	32.2	【主な内容】 学校運営に必要な物品の予算執行に係る学校長の裁量を拡大することで、学校ごとの特色や固有の事情に柔軟かつ迅速に対応した、きめ細かな学校運営を行います。 【増減理由】 単価契約対象物品の購入経費を学校運営事業費の対象にしたことによる増額（+11,272千円）
学校安全管理対策事業費	就学支援課	48,414	45,265	3,149	7.0	【主な内容】 学校施設内及び通学路などで、児童が事件や事故に遭遇する可能性を踏まえ、校地内には安全監視員を配置し、通学路では車両による安全パトロールを実施するとともに、交通量の著しい箇所への立哨員の配置を実施し、児童の学校生活や通学路等での安全・安心な環境の保持を図ります。

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
小学校図書館充実事業費	教育支援課	12,738	12,504	234	1.9	【主な内容】 児童の教育環境の向上を図るため、学校図書の実を充実を図ります。
小学校健康管理事業費	就学支援課	26,353	25,619	734	2.9	【主な内容】 学校保健安全法で定められている健康診断を実施することにより疾患の早期発見を図り、疾患についての管理指導を行います。 学校生活に適した衛生的で安全な環境の確保のため、薬剤師会に各種環境検査を委託し、校舎内の環境衛生の管理を行います。 タクシーを借り上げ、緊急時の児童搬送等に対応します。
小学生安全安心サポート事業費	就学支援課	10,353	9,871	482	4.9	【主な内容】 市立小学校に通う児童が、学校管理下で安心して学校生活を送れるよう災害共済、個人賠償責任保険等に加入します。
小学校教育研究事業費	就学支援課	641	1,726	△ 1,085	△ 62.9	【主な内容】 県小学校教育研究会等の研究活動の負担金を分担し、教育課題における研究成果の情報収集、教育者として資質の向上及び学校経営の効率化、強化を図ります。 【増減理由】 スタディーツーリズム事業終了による減額 (△1,085千円)
小学校行事活動事業費	教育支援課	9,824	11,259	△ 1,435	△ 12.7	【主な内容】 他校の児童との交流を通して、集団の中の1人としての行動を自覚させ、望ましい社会性を育てるため、小学校連合運動会を実施します。また、市内の小学生が絵画に親しみ、豊かな心を持つことができるよう、海老名市児童絵画コンクールを実施します。音楽鑑賞の体験事業を行います。 【増減理由】 森林環境啓発事業の所管替えによる減額 (△1,435千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
2 教育振興費		167,470	196,825	△ 29,355	△ 14.9	
スクールライフサポート事業費(小学校)	就学支援課	15,672	46,333	△ 30,661	△ 66.2	【主な内容】 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費・修学旅行費・学校給食費等の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。 【増減理由】 国による学校給食の抜本的な負担軽減に伴う給食費扶助の減額(△30,661千円)
要保護児童就学援助費	就学支援課	159	227	△ 68	△ 30.0	【主な内容】 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者(生活保護受給世帯)に対し援助を行い教育の機会均等を実現します。 【増減理由】 要保護児童の推定認定者の減少による減額(△68千円)
児童教材費支援事業費	就学支援課	104,900	99,662	5,238	5.3	【主な内容】 小学校全児童の教材費無償化及び彫刻刀を学校管理物品として児童に貸与することで保護者の負担軽減を図ります。
特別支援教育就学奨励事業費	教育支援課	6,902	5,765	1,137	19.7	【主な内容】 特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、就学に必要な支援を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。 【増減理由】 費目単価上昇、対象人数増加に伴う増額(+1,137千円)
肢体不自由学級通学支援事業費	教育支援課	356	358	△ 2	△ 0.6	【主な内容】 特別支援学級(肢体不自由学級)に在籍する児童の通学に係る費用を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
屋内プール水泳学習事業費	教育支援課	39,481	44,480	△ 4,999	△ 11.2	【主な内容】 市内屋内プールを使用し、天候に左右されない計画的な水泳学習を実施するとともに監視員・指導員を配置し、指導の充実を図ります。 【増減理由】 5・6年生の事業実施回数及び送迎バスの必要数量の減による減額(△4,999千円)
10・3 教育費(中学校費)		833,054	440,379	392,675	89.2	
1 学校管理費		720,285	327,194	393,091	120.1	
中学校維持管理経費	教育総務課	184,579	177,797	6,782	3.8	【主な内容】 生徒の教育環境の向上を図るため、施設の維持管理(補修等)を行うとともに、中学校運営に必要な備品等の整備を行います。また、教育内容の多様化に対応するため、教材、教具等の充実を図り、学習効果を高めます。
中学校施設整備事業費	教育総務課	426,743	58,946	367,797	624.0	【主な内容】 海西中学校校舎空調改修工事設計、海西中学校(1棟)外装改修工事設計、今泉中学校長寿命化改良工事設計、海老名中学校空調オーバーホール、今泉中学校増築校舎整備などを実施します。 【増減理由】 施設整備事業の増加に伴う増額(+367,797千円)
中学校運営事業費	教育総務課	25,518	17,300	8,218	47.5	【主な内容】 学校運営に必要な物品の予算執行に係る学校長の裁量を拡大することで、学校ごとの特色や固有の事情に柔軟かつ迅速に対応した、きめ細かな学校運営を行います。 【増減理由】 単価契約対象物品の購入経費を学校運営事業費の対象にしたことによる増額(+8,218千円)

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
中学校図書館充実事業費	教育支援課	5,919	5,813	106	1.8	【主な内容】 生徒の教育環境の向上を図るため、学校図書の実を図ります。
中学校健康管理事業費	就学支援課	17,586	17,110	476	2.8	【主な内容】 学校保健安全法で定められている健康診断を実施することにより疾患の早期発見を図り、疾患についての管理指導を行います。 学校生活に適した衛生的で安全な環境の確保のため、薬剤師会に各種環境検査を委託し、校舎内の環境衛生の管理を行います。市立中学校で、3年生を対象とした薬剤師による「くすり教育」を実施します。 中学3年生を対象として、インフルエンザ予防接種助成事業を実施します。 タクシーを借り上げ、緊急時の生徒搬送等に対応します。
中学生安全安心サポート事業費	就学支援課	5,303	5,033	270	5.4	【主な内容】 市立中学校に通う生徒が、学校管理下で安心して学校生活を送れるよう災害共済、個人賠償責任保険、中学3年生受験行事保険等に参加します。
中学校教育研究事業費	就学支援課	1,118	1,065	53	5.0	【主な内容】 県中学校教育研究会等の研究活動の負担金を分担し、教育課題における研究成果の情報収集、教育者として資質の向上及び学校経営の効率化、強化を図ります。
部活動充実事業費	教育支援課	52,481	43,092	9,389	21.8	【主な内容】 部活動の実践的活動を支援し、円滑な実施及び充実、推進を図るとともに、部活動の指導者を派遣することにより、技術の向上・活動の活性化を図ります。 【増減理由】 部活動運営事務局の設置による増額（+9,389千円）
中学校行事活動事業費	教育支援課	1,038	1,038	0	0.0	【主な内容】 中学校総合文化祭、海老名市中学校吹奏楽部合同コンサートを実施します。また、『太田市・海老名市子ども「文化・スポーツ・教育」交流宣言』のもと、本市中学生と太田市児童生徒との交流活動を推進します。

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
2 教育振興費		112,769	113,185	△ 416	△ 0.4	
スクールライフサポート事業費(中学校)	就学支援課	45,226	46,591	△ 1,365	△ 2.9	【主な内容】 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費・修学旅行費・学校給食費等の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。
要保護生徒就学援助費	就学支援課	588	305	283	92.8	【主な内容】 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者(生活保護受給世帯)に対し援助を行い教育の機会均等を実現します。 【増減理由】 認定者の増加による増額(+283千円)
生徒教材費支援事業費	就学支援課	61,123	60,407	716	1.2	【主な内容】 中学校全生徒の教材費無償化及び彫刻刀と柔道着を学校管理物品として生徒に貸与し、保護者の負担軽減を図ります。
特別支援教育就学奨励事業費	教育支援課	3,468	3,385	83	2.5	【主な内容】 特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、就学に必要な支援を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。
肢体不自由学級通学支援事業費	教育支援課	253	254	△ 1	△ 0.4	【主な内容】 特別支援学級(肢体不自由学級)に在籍する生徒の通学に係る費用を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。
屋内プール水泳学習事業費	教育支援課	2,111	2,243	△ 132	△ 5.9	【主な内容】 市内屋内プールを使用し、天候に左右されない計画的な水泳学習を実施するとともに監視員・指導員を配置し、指導の充実を図ります。

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
10・4 教育費(社会教育費)		1,411,926	1,326,193	85,733	6.5	
1 社会教育総務費		905,926	795,411	110,515	13.9	
社会教育総務管理経費	学び支援課	1,074	1,112	△ 38	△ 3.4	【主な内容】 社会教育に関し助言を行う社会教育委員に係る経費です。
社会教育推進事業費	学び支援課	7,462	5,421	2,041	37.6	【主な内容】 保護者を対象とした家庭教育学級や講演会等を実施します。また、幅広い年齢層を対象に学びの場、市民講座を実施します。 【増減理由】 森林環境啓発体験ツアーの業務移管に伴う増額（教育支援課からの移管）（+2,041千円）
子ども・学校支援事業費	学び支援課	59,122	56,019	3,103	5.5	【主な内容】 地域の協力のもと学校応援団を組織し、児童の放課後の支援、学校支援を実施します。
青少年教育事業費	学び支援課	3,000	2,594	406	15.7	【主な内容】 青少年指導員の活動等に係る経費です。あいさつ運動や工作指導、親子のふれあいの機会を提供するなど、児童の健全育成活動を実施します。 【増減理由】 新たな委嘱期間となり、新任者の物品等が必要となることによる増額（+406千円）

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
社会教育活動団体支援事業費	学び支援課	2,618	2,611	7	0.3	【主な内容】 市内で活動する青少年健全育成団体へ活動支援を実施します。(スカウト連・子ども会・青指連・青健連・PTA)
学童保育支援事業費	学び支援課	801,409	696,526	104,883	15.1	【主な内容】 条例基準に適合した運営が図れるよう運営費を支援します。また、スクールライフサポート世帯へ保育料相当額を補助します。 【増減理由】 学童の支援単位数増加や補助基準額の増額等に伴う増額(+104,883千円)
二十歳の祝典運営事業費	学び支援課	998	965	33	3.4	【主な内容】 20歳を迎える市民等を対象に式典を開催することで、社会人としての自覚を促します。
ライフ・スタディサポート事業費	学び支援課	30,243	30,163	80	0.3	【主な内容】 生活困窮世帯の中学生に対するライフ・スタディサポート(学習支援)事業を実施します。
2 文化財保護費		62,817	51,620	11,197	21.7	
温故館維持管理経費	教育総務課	18,221	16,542	1,679	10.1	【主な内容】 郷土資料の収集、保存、展示公開・活用によって文化財の保護及び理解を図ります。 【増減理由】 人件費単価上昇、施設維持管理費増に伴う増額(+1,679千円)
歴史資料収蔵館維持管理経費	教育総務課	8,198	7,602	596	7.8	【主な内容】 歴史資料等の保管、施設の適正な維持管理を図ります。

(2) 主な歳出予算額の推移

(単位：千円)

予算科目	担当課	当初予算		差額 C=A-B	増減率 (%) D=C/B	主な内容及び増減の理由
		8年度(A)	7年度(B)			
文化財保護事業費	教育総務課	23,916	13,051	10,865	83.3	【主な内容】 海老名の歴史と文化を伝える文化財を後世に伝えるため保護事業を行います。 【増減理由】 旧今福家住宅文庫蔵等保存修理工事等に伴う増額 (+10,865千円)
文化財活用事業費	教育総務課	5,185	7,165	△ 1,980	△ 27.6	【主な内容】 海老名の歴史や文化を物語る史跡や文化財などを活用し、文化財保護意識の普及啓発を行い、市民の間に郷土意識や郷土愛の醸成を図ります。 【増減理由】 デジタルアーカイブ構築委託終了、海老名郷土芸能祭の実施がないため(隔年開催)減額(△1,980千円)
埋蔵文化財調査事業費	教育総務課	7,297	7,260	37	0.5	【主な内容】 市内に存在する89か所の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)に係る開発・建築等に先立ちその保護のための事前調整(試掘調査、工事立会、発掘調査など)を行い、市内から出土した遺物を文化財収蔵庫等において保管・管理します。
3 図書館費		443,183	479,162	△ 35,979	△ 7.5	
図書館維持管理経費	学び支援課	443,183	479,162	△ 35,979	△ 7.5	【主な内容】 指定管理者による市立図書館の管理・運営を実施します。
歳出合計		6,541,795	4,979,146	1,562,649	31.4	